

## 中世写本復刻版

ケニコット聖書

バルセロナ・ハガダー

ロスチャイルド・ミセラニー

アルバの聖書

(Facsimile Editions) -UK-

日本総代理店 (株)紀伊國屋書店

# 中世ヘブライ彩色写本

**ユ**ダヤ民族の流浪の歴史を物語るかのように、ヘブライ語の彩色写本は中近東から西ヨーロッパにわたる広範囲な地域で製作され、今日に伝えられています。

現存する最古のものとして西暦895年バビロニアのセベズ・ベン・ソロモンがエルサレムのシナゴーグに寄贈した預言書が知られます。この写本には同時代のイスラム写本からの強い影響を随所に見てとることができます。エルサレムをはじめとするイスラム圏の各地で書かれたヘブライ語写本には、幾何学模様や花の意匠を金、緑、赤、青などの極彩色であしらったカーペット頁が少なからず含まれ、更に聖書においては、ヘブライ文字の装飾性を利用し、ほとんど判読しがたいほどの細字でかかれたマソラ（註解）が本文の周囲を飾っています。イスラム写本の装飾様式の歴史的変遷の影響下にありながらも、これらの特徴はその後数百年にわたりヘブライ装飾写本の主要なモチーフとして繰り返されました。



**13** 世紀以降盛んに製作されるようになったヨーロッパでも、イスラム圏の基本的特色は受け継がれましたが、厳しい偶像崇拜禁止のもと、人物表現の認められなかった彼の地とは異なり、人面獣身像なども含む多彩な人物像が登場するようになりました。ユダヤ人の生活の一端をうかがうに足る描写もハガダーの各種写本に数多く残されています。ヨーロッパにおけるヘブライ写本製作の中心となったのは、フランス、ドイツ、イタリア、スペインの諸国ですが、ことにユダヤ人が文化的、経済的な繁栄を極めたイタリア、スペインでは、最も豪奢かつ醇美な作品群が生まれており、今もなお高い芸術性と稀少性によって多くの人々を魅了し続けています。

# ファクシミリ・エディションズ

ロンドンに本拠を置くファクシミリ・エディションズは、1980年の創業以来、中世写本の復刻版四点を刊行しています。約5年の歳月をかけて漸く完成されたケニコット聖書を皮切りに、バルセロナ・ハガダー、ロスチャイルド・ミセラニー、アルバの聖書がこれまで製作されていますが、これら四点の原本は、いずれも中世ヘブライ美術の屈指の傑作に数えられるものであり、複製にあたってはその優れた美質を完璧に再現すべく望みうる最高の技術を駆使しています。ファクシミリ・エディションズの刊本はそれ自体芸術品であると評される所以もまさにこの完全主義に発しているといえるでしょう。

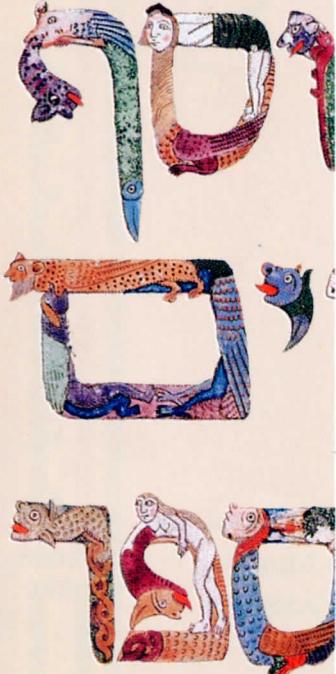


印刷の原版作成にあたっては、レーザー・スキャナーで原本から直接色分解を施し、更に綿密な色校正を繰り返して行うことによって、オリジナルのもつ輝かしい色彩を余すところなく再現。また用紙も、羊皮紙の質感を求めて特別に抄造した中性紙を採用しています。ふんだんにもちいられている金彩・銀彩は、印刷では望むべくもないため、金箔・銀箔の箔押しで仕上げられました。今日残されている原本の装丁は必ずしもかつての姿をとどめているわけではないので、同時代の様式に基づく堅牢な皮革製本がなされています。印刷、製本、いずれの過程においても原本の折丁を忠実に復元しており、書誌的な観点からも万全の注意が払われていることがうかがえます。



各復刻版にはそれぞれ別冊の英文解説書が加えられており、歴史・美術・図像学・古書体学・典礼などあらゆる分野にわたる書下ろしの研究論文を収載しています。どれも第一人者の手による優れたモノグラフであるため、今後の調査、研究においても必須の文献となりましょう。

ファクシミリ・エディションズの復刻版は、高い水準を維持するため500部前後の完全限定版とされ、刊行と同時に印刷原版は破棄されています。今後の入手はいよいよ困難となる事も予想されます。是非この機会におもとめ下さい。



ケニコット聖書は中世スペイン=ユダヤ美術を代表する名品であり、15世紀ヘブライ語聖書の中でも最も装画の豊富な写本として知られています。スペイン、ブラーガのイサック・ベン・ドン・ソロモンの委嘱により、写字生モーゼス・ベン・ヤコブ・イヴァン・ツアバラが1476年7月24日ラコルニアで畢写、ヨセフ・イヴァン・ハイームが彩色したもの。456葉（うち9葉は空白）のこの写本は、全面にわたって彩色をほどこした頁を40も含み、そのうち10頁は美しい幾何学文様のカーペット頁です。スペインのヘブライ聖書写本は元来装画に乏しくこれは極めて例外的な存在と言えるでしょう。これらの装飾には、西暦1300年スペイン・セルヴェラで完成された「セルヴェラ聖書」（リスボン国立図書館蔵）というモデルがありました。ヨナが鯨に飲まれる情景（第305葉）をはじめとして、イヴァン・ハイームはかなり忠実に再現しており、画家による跋の人文字（第447葉）も見まごうことのない類似を示しています。約2世紀も前の写本を敢えて範としたのは、当時コルンナにあったセルヴェラ聖書を委嘱者が目の当たりにし、これと似た聖書写本を作った様依頼したためとも推定されます。

# ケニコット聖書



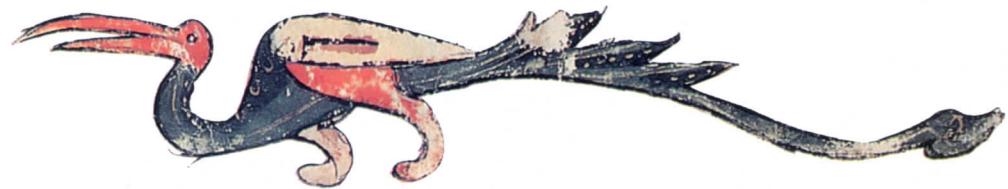
しかし一方で、兎の軍勢が狼の城に押し寄せる図（第442葉）、サムエル記第二の冒頭に描かれた老王ダヴィデ（第185葉）の様に、モデルを離れて優れたオリジナリティーを明らかにした挿絵も少なくありません。また夥しい枠飾り模様には、15世紀の後期ゴシックの特徴が如実に見られます。

原本はオックスフォード大学ボドリアン図書館所蔵 (Ms. Kennicott 1)。書体はセファラディ、マソラ付きの旧約全文に、ラダク（ラビ・ダヴィード・キムヒ）の文法書「セーフェル・ミフロール」(完全の書) を併載しています。同時代の極めて特色ある箱状の装丁とともに現存しており、ファクシミリ・エディションズはこれも完全に再現しました。

限定550部（市販500部）



# バルセロナ・ハガダー



ハガダーはユダヤ教の最も重要な祭日の一つ、過越の祭に広く用いられた典礼書です。このバルセロナ・ハガダーには、過越の祭直前の安息日に用いる聖歌に続いて、出エジプトの物語を中心とし、教訓譚や格言を含んだ（狭義の）ハガダー、祭の週の聖歌・祈祷などが収められています。13・14世紀のスペインのユダヤ人社会で最も人気の高い彩色写本であったハガダーは、家庭で実際に使われ、楽しまれた内容であるだけに、親しみやすい装飾豊かなものが数多く残されていますが、とりわけバルセロナ・ハガダーはその質・量ともに優れた写本として有名です。



「バルセロナ」の名の由来は、第61葉の装画中バルセロナ市の紋章が描かれていることによりますが、ミニチュールに全頁大のものではなく、全て本文中の挿絵であるのは、スペインのハガダー写本の特徴です。と同時にまた、柔らかみを帯びた衣服、表現力に富んだ顔の作りや遠近法などに、イタリア的な要素も認められます。このような様式上の特徴は、14世紀中葉アラゴン地方の製作であることを示します。当時アラゴン地方では、ユダヤ人がヨーロッパでも最大規模の共同体を築いており、この地で宮廷とも深いつながりを持つ豊かな写本芸術が生まれていました。

彩色画には多数の人物・動物があらわれ、それとともに様々な楽器や装身具、食器なども描かれています。これらは当時のユダヤ人の生活の諸相を今日の我々に伝える貴重な資料と言えましょう。

500部限定（市販450部）





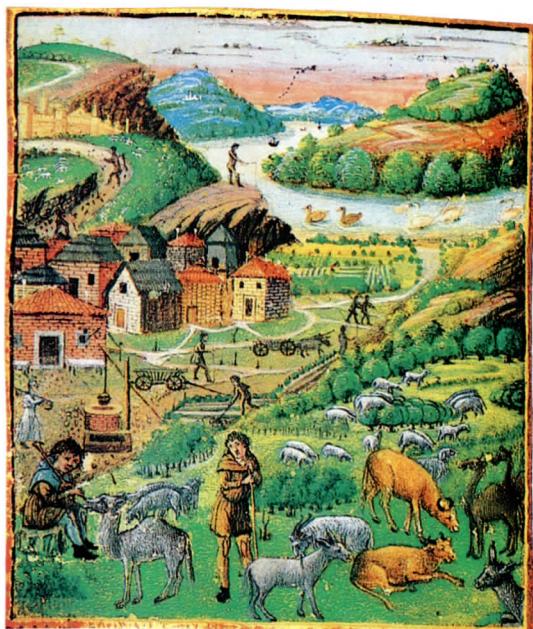
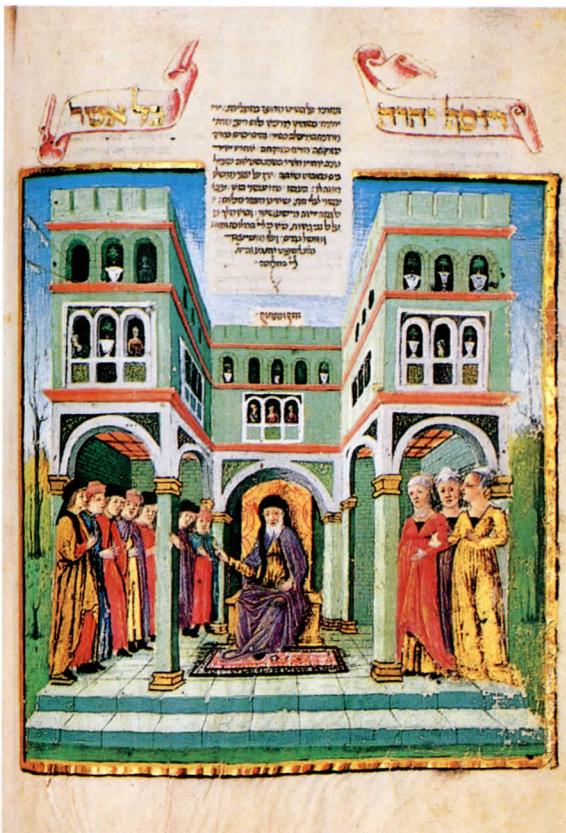
# ロスチャイルド・ミセラニー



1470年頃北イタリアで制作された彩色写本の傑作。パリの名門ロトシルド（ロスチャイルド）家の旧蔵。牛の胎児（ないし死産した仔牛）から作られた薄い最上質のヴェラム473葉には、ハガーダをはじめ聖俗とりまして70以上の作品を収載し、ほぼ全頁にわたって美しい彩色が施されています。この装飾には少なくとも3人以上の画家が携わったとされ、その中には「ボルソ・デステの聖書」の装画にあたったフェラーラのタッデオ・クリヴェッリに酷似したスタイルのものも含まれます。彩りゆたかなミニチュールの多くは枠で囲まれ、背後に風景を配していますが、精緻な描写と空間構成を伴っています。



この写本がかかった当時のイタリアはまさにルネッサンスの最盛期にあり、教皇や貴族等の保護のもと、中世写本の伝統に新しい生命力が吹き込まれた時代にあたります。彼の地で豊かな経済的基盤を得たユダヤ人も美しい書物に惜しみなくその富を投じました。ヘブライの彩色写本が芸術的な面で最高潮に達したのは、まさに15世紀のイタリアにおいてであり、ロスチャイルド・ミセラニーは中でも最上の作品にあげられるものです。



第二次大戦のナチスによるパリ占領中、ロトシルド家から盗まれ、アレクサンダー・マルクスの尽力によって取り戻されました。本書がユダヤの民族的遺産であり、私蔵に秘せられるべきではないというナルキスの説得に動かされ、1957年にはイスラエルのベザレル国立美術館に寄贈されました。

550部限定（市販500部）



# アルバの聖書



カラトラヴァのドン・ルイス・デ・グスマンが旧約聖書のカスティリア語訳をユダヤ教のラビ、モーゼス・アラヘルに依頼したのは、スペインで反ユダヤ感情が高まりつつあった1422年のことです。カトリック教会の高位にあったグスマンの異例とも言うべきこの発案は、ユダヤ教の聖書解釈を知悉することによって、キリスト教徒側の理解と寛容とを養おうとする意図にもとづくものでした。ヘブライ語からの原典訳、更にその註解という大任を負わされたアラヘルは、むしろこの仕事がキリスト教徒の誤解と難詰を招くのをおそれ、当初拒否したものの、ついには依頼を受け、1430年6月に完成しました。しかしこの写本は戦禍のためグスマンの手に届くことなく、トレドのフランシスコ会の手で1433年検閲に付された後、幾多の手をへて現在はアルバ大公のリリア宮に所蔵されています。この間ユダヤ人に対する憎悪は悪化の一途をたどり、1492年にはトルケマダの煽動による有名なユダヤ人追放令に至りました。

グスマンの意図は果たされなかったとはいえ、アルバの聖書には今日もなお注目すべき価値が認められます。キリスト教的解釈に些かも阿ることなく訳解された本文には、ダルグム、ミトラーシュ、タルムード、或いはスペインで開花したカバラの最も重要な原典ゾハールからの博引傍証にみちた註釈が加えられており、10世紀以降優れた学者を輩出し、輝かしい一時代を画したスペイン=ユダヤ文化の集積をここにみることができましょう。また513葉からなるこの写本に描かれた334点ものミニチュールはキリスト教徒の画家によるものながら、モーゼス・アラヘルの詳細な指示が与えられていたことは明らかで、その本文解釈に忠実に従っています。高い技術を誇った15世紀スペインの彩色写本としても出色の作品であるのみならず、例えばカインのアベル殺害の情景ではゾハールの解釈通りアベルの首を咬んでいる点など、ユダヤ教の聖書図像学を十二分に示した類例のない大規模な写本です。

この復刻版は1992年、ユダヤ人追放令の正式撤回を記念して、スペイン王室の委嘱にもとづき製作されたもの。

500部限定（市販300部）





ケニコット聖書

**The Kennicott Bible**

32 × 26.2 × 10cm 922p.

KBN 9210238990-1 1983年復刻

¥1,407,000

バルセロナ・ハガダ

**Barcelona Haggadah**

26 × 19 × 3.5cm 322p.

KBN 9210239019-1 1990年復刻

¥808,500

ロスチャイルド・ミセラニー

**The Rothschild Miscellany**

32 × 26 × 10cm 944p.

KBN 9210239001-1 1989年復刻

¥1,459,500

アルバの聖書

**Rabbi Moses Arragel's Testament:**

**The Alba Bible**

40.5 × 29.5 × 11cm 1026p.

KBN 9210238982-1 1991年復刻

¥5,460,000

(注) 表示価格は税抜き価格です。消費税を3%別途申し受けます。